

# 第22期事業計画書

自平成 29 年 4 月 1 日

至平成 30 年 3 月 31 日

1. 事業方針
2. 営業計画
3. 予算計画書

## 1. 事業方針

当社は、八尾市の「八尾市放置自転車の防止に関する条例」に基づく各種施策を推進するため、平成 9 年 3 月に八尾市の第三セクターとして設立されました。市内の主要駅周辺に設置する自転車駐車場の管理運営に当たり、設立以来 20 年間順調に業績の拡大を図ってきたところであります。

引き続き、「放置自転車の防止」「自転車利用者のマナー向上」を図り、八尾市総合計画に掲げる「誰もが安全で安心して住み続けられる八尾」のまちづくりに貢献してまいります。

景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いており、一般消費については個人消費がやや持ち直しつつあります。

ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動に留意する必要があります。

供給面は業種によりばらつきがあり、設備投資に持ち直しの動きがみられ、商業系では小売がやや低調で、ネットショッピングなどの利用が顕著にみられ、工業系の生産性は持ち直してきております。

一方、雇用情勢は改善しており、大阪府の有効求人倍率が回復基調にあり、失業率についても回復基調現れてきました。

次期の景況は、需要面では、個人消費は持ち直しており、暫くはその状態が続くと考えております。インバウンドと言われる外国人旅行者の急激な増加に伴う特定分野での需要増があるものの非常に地域的なばらつきがある見込みです。供給面では、住宅建設が若干低下していく傾向が見えています。

景気の動向と共に、人口の減少と少子高齢化の進行は当社の経営に与える重要な要因となっておりますが、今後も環境変化に適切に対処するために、利用者の声を謙虚に受け止め、地域に根ざしたきめ細かなサービスに努めるとともに、施設の老朽化に対し、中期改修・改善計画を作成し自転車駐車場の改修・改善を進めてまいります。

また、自転車駐車場の管理業務において引き続き、地域高齢者の就労の場を提供してまいります。

今後も経費の節減等に鋭意取り組みながら、健全で安定した経営基盤の強化確立に努めてまいります。

## 2. 営業計画

### (1) 自転車駐車場の円滑な経営について

当社では、平成28年度末現在市内主要9駅周辺で12ヵ所23施設を管理運営しておりますが、平成29年度には、JR久宝寺駅北自転車駐車場を（公財）自転車駐車場整備センターから購入し、市内主要9駅周辺で13ヵ所25施設を管理運営することで、八尾市の放置自転車対策の推進に貢献していくものです。

自転車利用者がいつでも安全で安心してご利用いただくために、利用者のニーズをきめ細かく把握し、お応えできるよう、施設への巡回指導を継続するとともに、施設の公共性を十分認識し、施設の改修・改善を図りLED照明や防犯カメラの設置等にも計画的に取り組んでいるところです。

また、自転車駐車場不足による待機者の解消と、利用者の増加による収益の増大を図るため、施設の改良や新たな自転車駐車場用地の確保をめざしてまいります。

今後も引き続き、各自転車駐車場の管理運営については、経費節減に努めるとともに施設の効率的な活用等を図りながら、業績の向上に努めてまいります。

### (2) レンタサイクル事業の運営について

都市型レンタサイクル事業は、平成18年4月に八尾市から移管を受け、9ヵ所の自転車駐車場において運営しております。

レンタサイクルは、利用者にとって手軽で利便性が高く、駅からの通勤や営業、市内史跡等の観光への移動手段として市民に定着されてきており、引き続きレンタサイクル利用の積極的な情報発信に努めます。

また、「大阪府自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を順守するため自転車安全整備士による点検・整備を行いTSマークを貼付してもらうことで、傷害保険と賠償責任保険を付帯してもらいます。

今後とも、適正に管理し安全で安心して利用していただけるよう努めるとともに、計画的に自転車を配置します。